

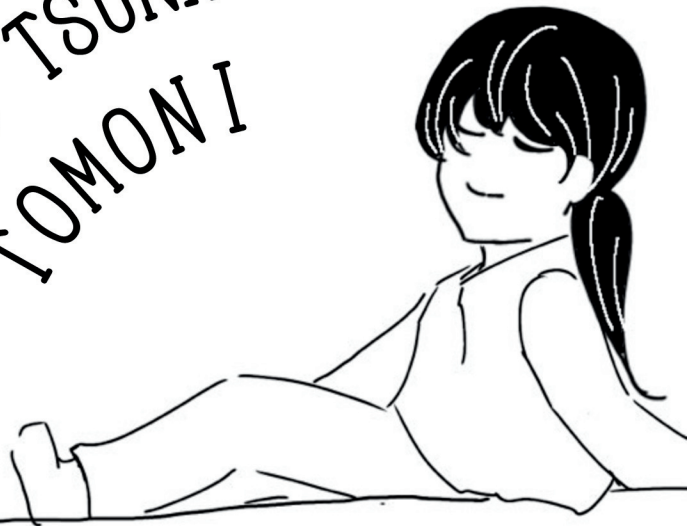
# つむぐ つながる 共に。

福祉を学ぶ高校生が紡ぐ、本当の介護の志事



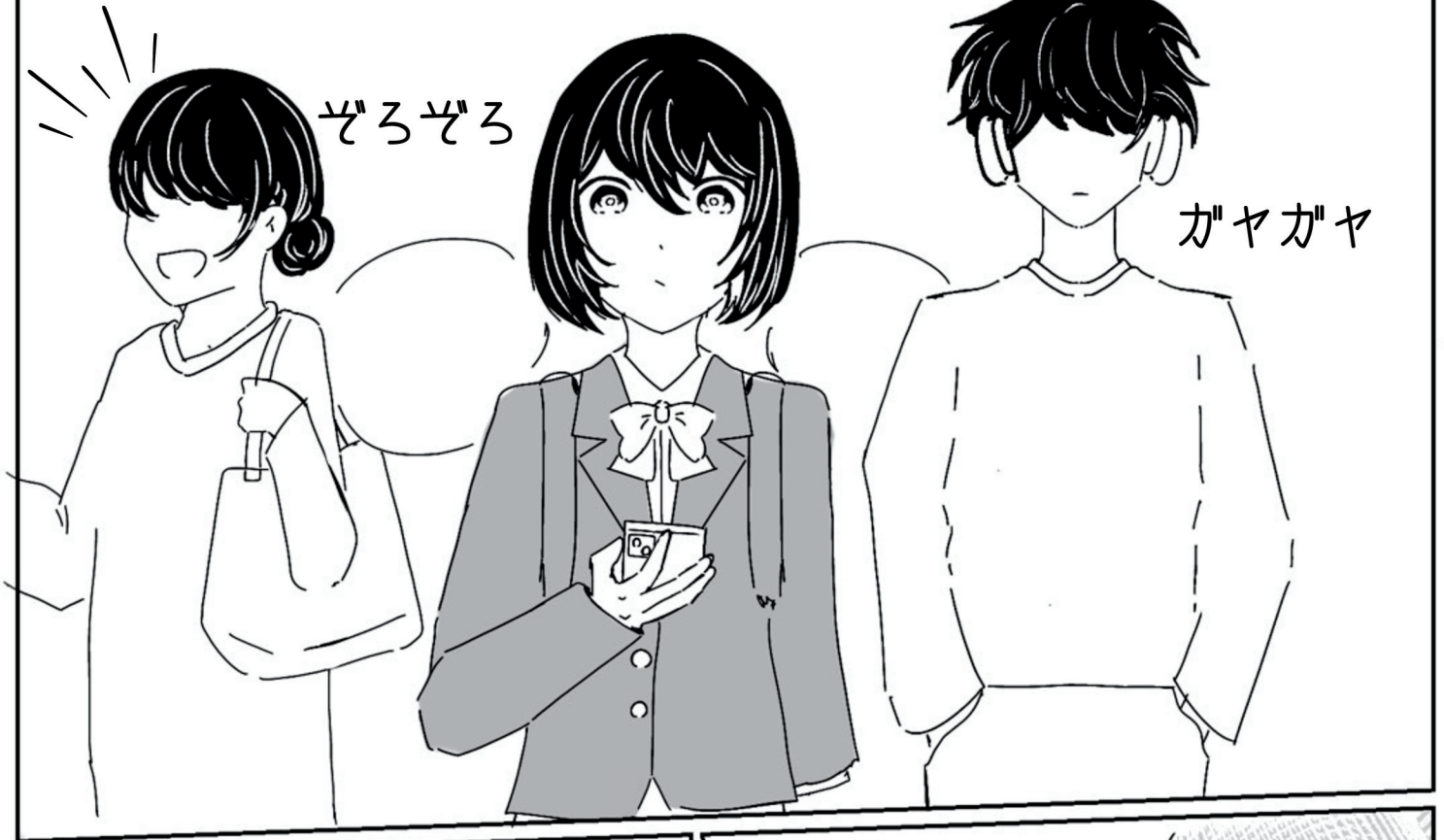
文：崎山 ひろみ  
絵：大脇 実桜

TSUMUGU TSUNAGARU  
TOMONI



あはは

シャカシャカ♪



生きるってなんだろう





呼吸をすること？

はー



生きるってなんだろう。

ただいまー

ガチャ



ごはんを  
食べること！?

うまー



夜たぐさん眠ること？

今、私は生きています。  
生きていてるって感じてる。

みー

みー

カシヤツ

祝  
入学式

でも、近所に住んでいる  
私のおばあちゃんは  
「生かされている」って  
いつも言ってる。

生かされている？

おばあちゃんは  
生かされているのよ



## 介護の基本は 自立支援

自立支援ってね



2 前項の保険給付は、要介護状態等の軽減又は悪化の防  
携に十分配慮して行われなければならない。

3 第一項の保険給付は、被保険者の心身の状況、その置か  
おれ  
に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事  
に提供されるよう配慮して行われなければならない。

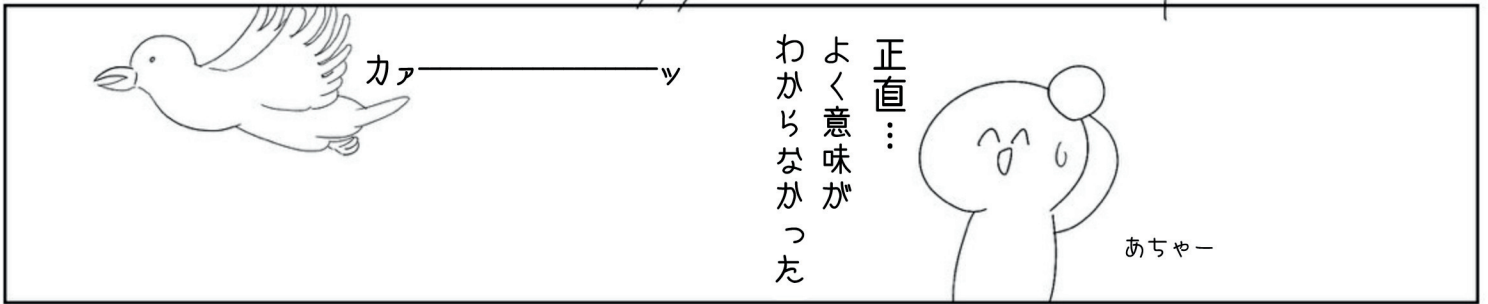
4 第一項の保険給付の内容及び水準は、被保険者が要介護状態となつた  
おれ  
その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができ  
ばならない。

広辞苑 じりつ 【自立】他の援助や支配を受けず、自分の力で判断したり身を立てたりすること。  
広辞苑 じりつ 【自律】他からの支配・制約などを受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動す  
ること。

介護保険法（目的）第一条この法律は、加齢に伴って  
生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態  
となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並び  
に看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等に  
ついて、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力  
に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必  
要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を  
行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制  
度を設け、その行う保険給付に  
必要な事項を  
定め、もって国民の  
目的と  
関し、  
（介護  
態又は  
関し、



可能な限り、  
に配慮されなけれ







おじいちゃん、おばあちゃん  
みんなとっても喜んでいて。

ゴロツ  
ヤンソウ!!!



みなさん

ボランテェア  
2日目  
レクリエーションもやったよ!!

元気な子だねー

ほんとだねー



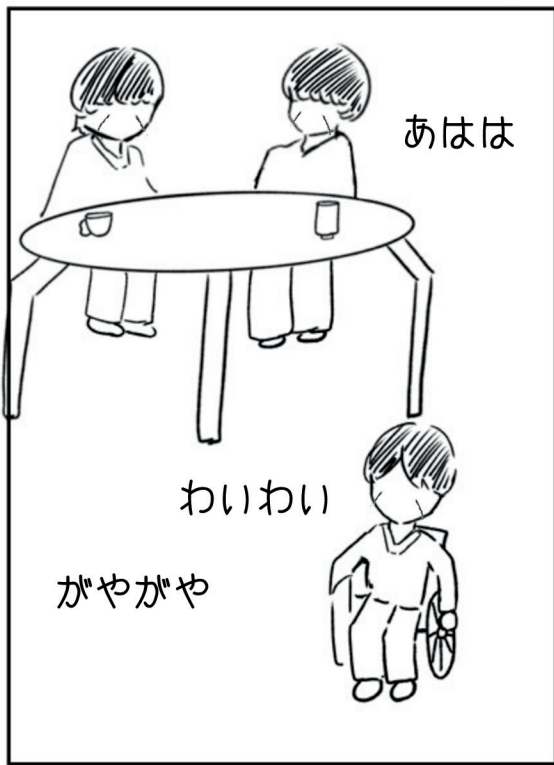
ニコー

見て。  
みんなのこの表情



イチ・ニ・サンッ!

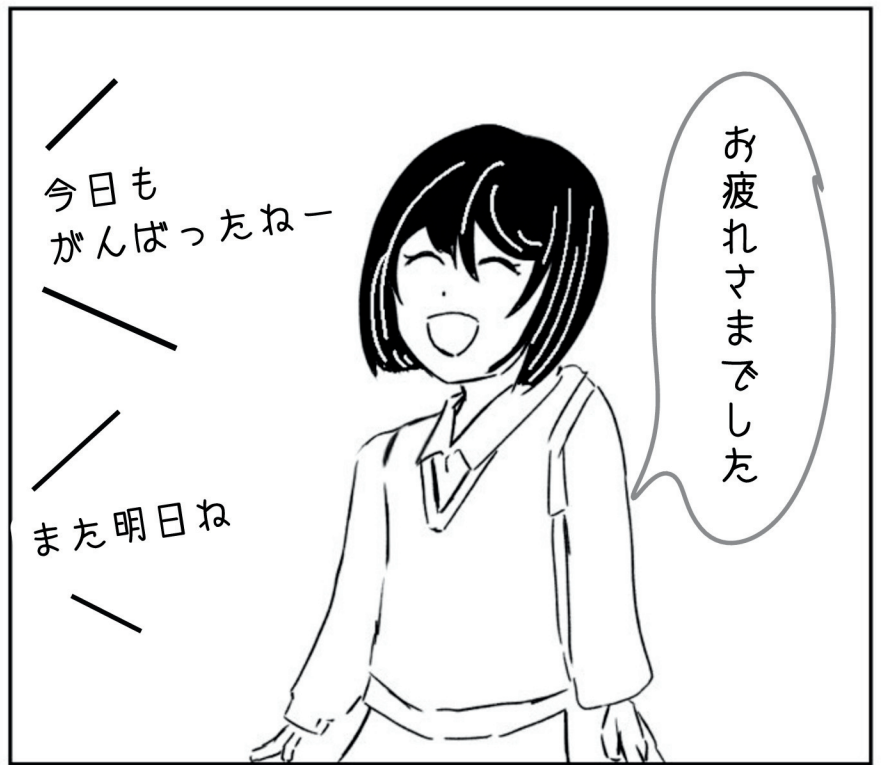
イチ・ニ・サンッ!



あはは

わいわい

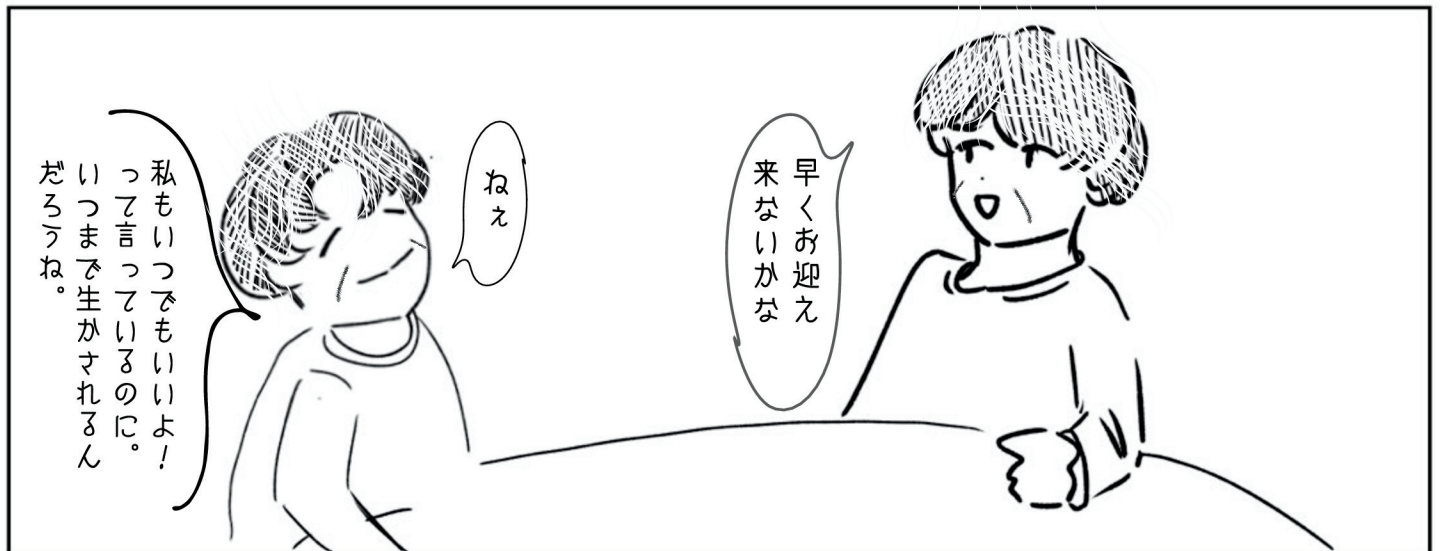
がやがや



今日も  
がんばったねー

また明日ね

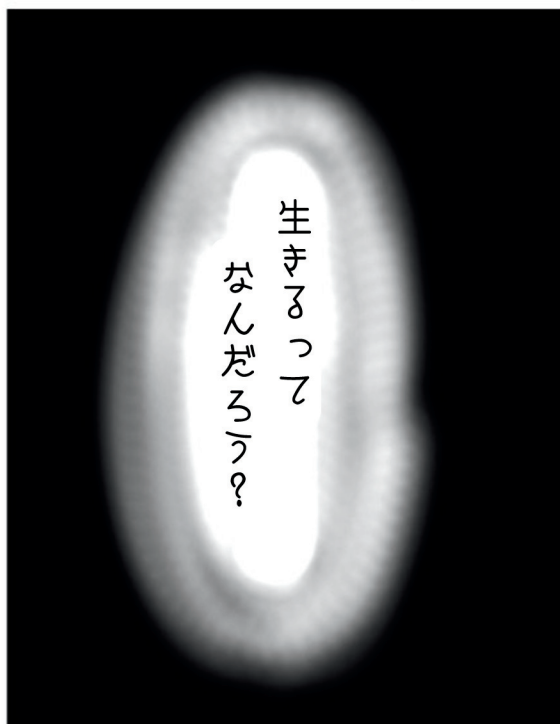
お疲れさまでした



ねえ

早くお迎え  
来ないかな

私もいつまでもいいよ！  
って言っているのに。  
いつまで生かされるん  
だろうね。



生きるって  
なんだろう？



あ、私のおばあちゃんも  
同じこと言ってる

ボランティアの最終日  
職員さんに聞いてみた

みんな楽しそうだったの  
口をそろえて  
「生かされている」って...

うんうん

見てごらん

このくらい  
私らでやるでいいよ

なんだかんだ  
私らがおらんと  
いかんねー



ありがとう  
さっきあなたのパパも  
褒めてくれたよ  
あれは、絵本になった絵よ

これ全部おばあちゃんが  
描いた絵なの？  
とっても上手だね！





少し、わかった気がする



この数日、毎日あなたと  
あいさつするのを  
心待ちにしていたの。

これからも頑張るね。

ありがとう  
またいつでも  
遊びに来てね

8日間  
ありがとうございました

あつという間の8日間  
最後お世話になった  
おじいちゃん、おばあちゃんに  
あいさつをして

そっか

自立支援の  
本当の意味は



一人で生きられることではなくて

まわりの人とながりにながら

助けたり  
助けてもらったり

ありがとうって言ったり  
言われたり

自分に  
自信をもって生きるって  
ことなんだ

だから、  
私は生きている。





## あとがき

現在、日本の少子高齢化は加速し続けています。  
団塊の世代が後期高齢者に達する2025年はもう目前、人口のおよそ3人に1人が高齢者という時代が到来しています。  
しかし、高齢者を支える介護の担い手が追いつかず、人手不足は深刻な問題です。  
その問題を解決するためには、「介護」に対して広く社会に浸透している「きつい」「汚い」「つらい」などの悪いイメージを前向きで明るいイメージに変えていく必要があると考えています。

私たちは2020年、介護・福祉啓発活動として「本当の介護の志事」を多くの人に届けるべく、誰もが理解できる介護の絵本「つむぐ つながる 共に。」を制作しました。  
当時絵を担当してくださった山田 恒子様は、現在99歳でご健在です。  
この絵本は、介護の絵本寄贈プロジェクトを通じて、全国の図書館への寄贈を完了し、現在は全国の小・中学校への寄贈活動を展開しています。

多くの方々から続編を望む声をいただく中、この度、ご縁をいただき福祉を学ぶ学生の力を得て漫画としてリニューアルする運びとなりました。

高齢者から高校生へと紡がれた想い。

この新たな展開を通じて、「介護は生き甲斐を支援する志事」という真実が、より多くの人々の心に紡がれていくことを願っています。

2024年10月  
一般社団法人全国介護支援協会  
代表理事 吉田 貴宏

「つむぐ つながる 共に。」  
～福祉を学ぶ高校生が紡ぐ、本当の介護の志事～  
制作プロジェクトチーム スタッフ

文：崎山 ひろみ SAKIYAMA HIROMI  
(まちあい処～おかってDAY主任生活相談員)

絵：大脇 実桜 OOWAKI MIO  
(菊華高等学校 保育・福祉コース 高校3年生)

渉外：松本 広樹 MATSUMOTO HIROKI  
(一般社団法人全国介護支援協会理事)

監修：吉田 貴宏 YOSHIDA TAKAHIRO  
(一般社団法人全国介護支援協会代表理事)

協力：河西 博貴 KASAI HIROTAKA  
(菊華高等学校 保育・福祉コース コース主任)

協力：村瀬 弘憲 MURASE HIRONORI  
(菊華高等学校 保育・福祉コース コース副主任)

<SPECIAL THANKS>

やまだ つねこ (山田 恒子)  
1925年 (大正14年) 生まれ 99歳  
デイサービスセンターに通う中で、「絵を描く」という新しい  
生き甲斐を見い出し、自分らしく生きることを体現している。  
「みんなに喜んでもらえたら嬉しい」と個展開催も継続中。

つむぐ つながる 共に。  
～福祉を学ぶ高校生が紡ぐ、本当の介護の志事～

2024年10月31日 制作

文：崎山 ひろみ  
絵：大脇 実桜

発行：一般社団法人全国介護支援協会

この本に関するご意見・ご感想・お問合せは下記までお願い致します。

一般社団法人全国介護支援協会

住所： 〒454-0005 愛知県名古屋市中川区西日置町十丁目107番地  
TEL： 052-898-4237  
MAIL： [jimu@zenkaikyo.jp](mailto:jimu@zenkaikyo.jp)  
WEB： <https://zenkaikyo.jp>  
担当： 松本 広樹

あれ ぼく なにか まちがっていたのかな？  
ぼくの やっていたことって  
みんなの 生きるよろこびには なっていなかったの？

